



U-PITS 通信

第34号

発行：医療法人仁愛会 浦添総合病院
救命救急センター救急総合診療部
病院代表電話番号(098)878-0231

集団災害時のヘリコプターの活用

多数の死傷者が出るような集団災害時にも医療用ヘリコプターは非常に有用なのだが、決して万能ではなく、弱点もある。

弱点の一つは、一度に多くの患者を搬送することができないということである。負傷者なら一度に搬送できるのはせいぜい一人か二人である。多数の患者さんや避難民を搬送するとなるとやはり自衛隊のチヌークなど大型の輸送用ヘリコプターが絶大な威力を発揮する。新潟での大地震でもその活動が繰り返し報道されていたが、道路が寸断されて避難路もないような時に一度に何十人も搬送できるので頼もしい限りである。



CH-47 チヌーク
い限りである。

医療用ヘリコプターの場合、現場指揮者をいち早く現場に派遣する、現場で医療活動にあたる医師や看護師を送り届ける、医薬品を届ける、優先度の高い負傷者をピストン輸送で搬送する、ということはもちろんできるし、道路が寸断されている場合や、渋滞で車両での移動が事実上不可能な時は絶大な威力を発揮するはずである。

だが、ここに大きな問題点がある。いったい誰が指揮をとるのか、指揮をとるためにどのようなシステムがあるのかということである。命令もないのに勝手に飛んで行っても着陸場所の確保もできず何の意義ある動きもできないしかえって混乱してしまう。したがって、情報中心にいて権限のある人がヘリの特性なども熟知し指示を出していかなければならない。それを担うのは通常は県や市の防災部局の管理職だが、そのかたがたはヘリの活用についてほとんど知識がないというのが現実である。したがって日本では集団災害時には自衛隊の大型ヘリ以外はほとんど機能しない。自衛隊に任務を与えて委ねれば、内部統制ができていて、通信も人員も物資供給も自己完結的にできるため、災害時に大きな役割が果たせるのである。

私はここではっきり申し上げておきたい。住民の命を守る立場にある行政の要職にあるかたがたは、ヘリについて勉強しておいて欲しい。せめて学ぶ姿勢をとって欲しい。ヘリに限らない。万一の時にどこにどのような医療資源がありどのように活用できるのかということを知らないまま、そのために被害が拡大するようなことがあったとしたら、職務怠慢であり、厳しく罰せられるべきだと考えている。
井上

【搬送件数】

12月の搬送実績: 19件

1月の搬送件数: 25件 (27人)

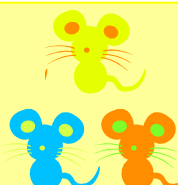
合計搬送件数: 420件(422人)(平成20年2月22日現在)



U-PITS ヘリ要請ホットライン(読谷事務所)

電話番号: 098-921-6911

対応時間: 9:00 ~ 17:00



ゆうぴっつな人々(第23回)



金城 聡彦先生は2月から長崎リハビリテーション病院のオープニングスタッフとして働くことになりました。H19.8月~H20.1月の間、当院で普段はERの中心となって働いて頂きました。U-PITSでは初めてのフライトから慌しい出勤だったようです...。(首里)

この1月いっぱい浦添を離れ、長崎で後期研修を続けることとなりました。後に続くU-PITSフライトドクターに体験談を少し書きたいと思います。

いきなり心肺停止!私の初めてフライトの症例でした。U-PITS読谷基地初勤務の朝「今まで使ったことないんですよー、しかも3日前に点検から戻ってきたですよ」とか言いながら看護師さんと人工呼吸器をチェックしていた場面が思い出されます。せっくなので本症例のことをもう少し書かせて下さい。最初のコールはある離島から「落ち着いているAMIです。」というものでした。ところが、いざ着いてみるとなやらかマシてます。ボスミン、アトロピン打って戻ったところでCV取って「さぁ先生、今ならいけます!」「!? (まじすか!? 心の中で)」しばし沈黙後、こりゃこのままじゃどの道助からないな、U-PITSってほんと空飛ぶ救急車だな、などと思いながら「わかりました!すぐ出発します!」結局経皮ペースティング、レスビ管理、5分ごとに昇圧剤打ちながら何とか浦添ERにたどり着きました。その後は各科協力の下2度の手術を乗り切り、歩いて島へと戻られました。一番印象に残っています。退院の報を聞いたときはほんっとに連れてこれてよかった!さんよくぞ耐えてくれました、と心の底から喜びが湧き、噛みしめました。

U-PITSにはいろんなドラマがあります。周りのフライトドクターと飲むときは色々聞いてみてください、きっと面白い話が聞けますよ。この一生ものの貴重な経験をさせて頂けたのは井上先生始めU-PITS Dr・Ns、ヒラタ学園、すべての皆様の熱心な体制作りあってのことと思います。皆様本当にありがとうございました。

今後もぜひ地域医療に対し大きな役割を担っていかれてください。
金城 聡彦

NEWスタッフ!!

U-PITS エスコートスタッフとして
新しいメンバーが加わるようになりました。



Dr
谷川 幸洋



Ns
南 真理子

よろしくおねがいします!!

【編集後記】2008年を迎え、初めてのU-PITS通信となります。早いもので、私が浦添総合病院に入職してから、一年が経ちました。昨今の頃は病院のことも、もちろんヘリの事もほとんど知らず、日々を過ごすだけで精一杯でした。2008年は昨年以上に充実した一年になるようがんばります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

U-PITS 広報担当 首里

